



何故、女性に聖化が必要か

▼日本ホーリネス教団・東京聖書学院

大倉 君江

関東聖化大会の中に「女性大会」が加えられて六年が過ぎました。

何故「女性に聖化が必要なのか」を考えてみたいと思っています。

一、信仰の正しい継承の為に

「揺籃を動かす手は世界を動かす」といわれますが、日常生活にみられる母親の神第一の信仰の姿勢は家族（特に子供達）の霊的生涯を決定するといっても過言ではないと思います。

ロイスとユニケの偽りのない真実な信仰がテモテの模範となり、生涯が主に献げられたように、キリストの臨在を崇めて生きる母の姿には子供達の心を「神の為に喜びをもって生きる生涯」に至らせることでしよう。母としての責任は重く、いかに生きてゆくかが問われていると思います。

二、どのような試練のなかにも神に対する揺がない「信頼」をもって

立ち続ける為に

このために「聖化の経験」は必要だと思っています。誰しも試練の多い生涯を望んではいません。しかし現実には愛する者の病や死、生活の根底がゆすぶられるような経済的な問題、年を重ねるにしたがってのアクシデントが或る日突然におきてくるのです。ヨブのように「彼がわたしを試みられるときわたしは金のように出て来るであろう」(ヨブ二十三の十)という勝利ある信仰は明確な潔めの経験のないところにはみることが出来ないでしょう。こんな苦ではなかない為に「聖化」は必要です。

三、あたえられた立場で神と人との喜びをもって仕え続ける為に「聖化」はなくてはならない信仰のプロセスです。

「我が家の台所にはイエス様がおります。

れるようだ!!」とはキリスト教に反対し続け、後に入信されたあるご主人の証でした。社会に家庭に教会に「あの人はいつも心が温かく親切でイエス様みたい」と評価されるクリスチャンが一人でもいたら人々の心は変えられ慰められていくのです。たとえ人の眼にたつ奉仕でなくても「これらの最も小さい者の一人にしたのは即ち私にしたのだ!!」と主はどんなに喜んで下さることでしょう。

「聖化の恩寵」は牧師や男性達だけの受ける恵みではありません。家事と育児に忙しく過しておられるあなたの為に、また試練の中で苦しんでおられるあなたの為にこそ、なくてはならない素晴らしい経験なのです。一緒にこの驚くべき恩寵の生活を送らせていただくようではありませんか。

開催され
なりました
きます。

教勢

	集 会 名	集 会 人 数
10月16日(月)	セミナー I	339
	教師交歓会	45
	講 演	331
	聖会 I	437
10月17日(火)	女 性 大 会	489
	レセプション	36
	セミナー II	292
	神学生交歓会	160
	聖会 II	409

特記事項 女性大会には男性も含まれます。

財勢

集 会 名	席上献金	予約献金	合 計
聖会 I	371,583	977,500	1,349,083
聖会 II	370,509	253,000	623,509
セミナー II	213,914	339,000	552,914
女 性 大 会	356,127	541,000	897,127
集 会 後	0	11,000	11,000
合 計	1,445,409	2,316,382	3,433,588

◆L・ウッド博士◆
聖潔られた生涯の模範(聖会 I)

今晚、私はステパノの証、即ち聖潔られた生涯のモデル、模範ということを語らせていただきたい。今読んでいただききた使徒七章は、ステパノについて記されています。彼は信仰と聖霊に満たされた人でありました。彼は神のみことばの力強い説教者でした。また最初に選ばれた七人の執事のひとりでした。彼は偉大な知恵の持ち主でした。しかし、悪しき心を持った人たちは彼を異端という名前前で呼びました。そして彼を宗教裁判にかけたのです。彼がこの時語った三つの事に目を留めましょう。

第一は、クリスチャンライフは、関係における純潔、あるいはきよきである。神は歴史の中に自己紹介をしてくださいました。なぜなら、神は歴史の主であられるからです。また神が示されたことは神が人格的なお方であるということです。そして私たちは、神と人格的な関係を持たなければなりません。

しかし、悲劇が起きました。神の御名は忘れ去られ、神の像に造られたことも忘れ、神が交

わりを持ちたいと願っている事も忘れたのです。イスラエルの人々は神の民となるべきでした。しかし神との関係において失敗したのでした。彼らはいくつもの罪を犯しました。またステパノを裁判にかけた人々も同じように聖霊に逆い続けていました。しかし、ステパノが人々に思い起こさせた事はイエスによって全ての歴史が成就するという事でした。イエスによってのみ神との失なわれていた関係を回復することができ、この新しい脱出を通して、神との関係に入る事ができる事です。彼らが殺したイエスを神はよみがえらせてくださり、このお方こそ、新しい脱出の道でした。この復活されたイエスが人々の心と生涯を支配するためにおいてになったのです。

第二は、聖潔は内に宿る聖霊によって成就される。ホーリネスとは、神との全き深い関係にあることを意味します。完全な愛です。ですから、神様は「心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くしてあなたの神主を愛しなさい。」と言われました。申命記六・四、五節は、カナ

ンの地で神が民に要求されたこととす。ステパノが彼らに思い起こさせたことは、神様の歴史の目的が何であるかということでした。ソロモンは神殿をエルサレムに作りました。しかし、いと高き方は手で造られた家にはお住みにならないのです。ステパノのメッセージを聞いた人は、彼が何を言いたいかがありました。

イエス・キリストとそれに続く聖霊の注ぎによってのみ神の潔きところに入る事ができるのです。聖霊を内に宿すことによつて神の住まいとなる事ができ、聖霊が私たちに力を与えて神を愛することができるようになるのです。私たちの心が神の神殿となる事ができるので。そして、キリストの御かたちに変えていただく事ができるのです。これこそ、クリスチャンのホーリネスの意味です。

第三は、内に宿る聖霊は私たちを強めて、イエス・キリストの証人とされる。昔のイスラエル人は、神に対して貧弱な証人でありませんでした。彼らは偽りの神々を拝んで、真の神に背を向けまし

た。モーセの教え、すなわち心を尽くして神を愛するようという教えを捨てました。ステパノは言いました。ですから神は彼らを捕囚にお送りになすってしまったのだと。

聖霊の力によつてステパノは、主イエス様の証人となりました。ことばによつてキリストを証しただけでなく、死によつて証しました。彼は最初のクリスチャンの殉教者となりました。彼は聖霊が臨むというこのキリストの約束の成就となったのです。しかし、ステパノのような生き方は人間の力だけでは不可能です。このような完全な愛の力というものは聖霊の(キリスト)賜物以外の何物でもありません。この同じ御霊による愛は御父が御子に与えてくださった同じ御霊の愛です。イエス様は私たちに對する愛のゆえに、ご自分の命を捨ててくださいました。ステパノは街の外に引きずり出され石で打ち殺されました。彼は神様の最後の点呼に答えました。「主イエスよ、私の霊をお受け下さい。」と、「主よ、この罪を彼らに負わせないでください。」と。

(文責 西村 内弘)

第10回聖化大会(東京)報告

昨年10月16日(月)～17日(火)、東京における第10回聖化大会が社会文化会館(於三宅坂)ました。L.ウッド博士を主講師として、第10回目の記念の時にふさわしい幸いな集会た。別表の通り、教勢財勢を報告し、下記に2回の聖会のメッセージの概要を記して

◆L・ウッド博士◆

献身への招き(聖会II)

ローマ人への手紙一・二章一、二節から、クリスチャンの献身への招きについて考えてみましょう。

1 強制的な招き

パウロは、神のあわれみを根拠にして「あなたがたにお願いします。」と言っています。神のあわれみは、私たちの罪の贖いのために主が死んでくださったことに特に表わされています。神が私たちのためになさったすべてのことを覚えて献げるよう招かれているのです。これは私たちへの命令であって、もし完全に献げることをしないなら、それは不服従となるのです。私たちは神にペスト以下のものを献げることでござるでしょうか。

2 指定された招き

この招きは、ある特定の人々に宛てられたものです。すなわち、すでに罪赦され、御霊によって新しく生まれまして新しいのちを得た信仰者に対する招きです。キリストを主と告白する人へへの招きですから、この献身は何か思いついてするものではなく、断固として、また喜びを

もってなされる全的献身です。

3 厳しい招き

人生において真に重要なことは決して容易には得られません。即座の解決を何の犠牲も覚悟せず求める人は、自己中心の怠慢に欺かれているのです。パウロは「あなたがたのからだを、神に受け入れられる、聖い生きた供え物としてささげなさい。」と言っています。献身はあなたの存在すべてとあなたが持っているものすべてを要求するものです。私たちはもはや自分自身のものではありませぬ。「からだ」は、私たち自身が何であるかを表わすものです。私たちは神が住みたもう聖霊の宮であるべきです。「生きた供え物」とは矛盾した表現のように見えますが、真実をよく表わしています。私たちは、私たちのからだを死んでいない生きた供えものとして献身の祭壇に置くのです。そしてこの献身の祭壇の上で私たちは、文字どおりの火ではなく、神の情熱の火によって焼かれるのです。私たちの社会でもはややされているこの世の価値観は、全く献げることをし

ないようにと働きかけます。そこでパウロは、「この世と調子を合わせてはいけません。」と言っているのです。周囲の人と同じように生きていくことは容易なことです。しかし、私たちへの招きは厳しい招きであり、私たちは主のために命をも捨てることのできる献げきつた主の弟子であることが必要なのです。

4 理にかなった招き

神は私たちには不合理なことを要求されませぬ。パウロは「霊的(合理的)な礼拝」といっています。これは愛の働きです。また感情と知性を伴う個人的な行為です。形式的で機械的な異教の礼拝とは違います。私たちの礼拝はよく考えてする合理的な礼拝です。この礼拝は、キリストの永遠の関係に私たちを導くものであって、死もいのちもそれを破壊することのできないものです。

5 変貌させる招き

私たちは、考え方や他との関係において周囲と全く違った存在です。なぜならキリストの愛が私たちを変え、私たちの思い

を一新してくださるからです。キリストが私たちを愛してくださったように私たちが隣人を愛する時、彼らは愛されていることが分かり、変えられるのです。

6 力を与える招き

パウロは、神のみこころが「よいことで、神に受け入れられ、完全であることをわきまえるため」といっています。献身は、私たちが生活の中で神がいかなるお方かを示すことを可能とするのです。献身によってすべての問題が解決するわけはありません。しかし、力を与える神の恵みは、私たちがその問題の中にあつて生き、勝利することと可能とするのです。心に傷を持ちつつ生きて行かなければならないこともあります。問題が即座に解決されることを求めるなら、それは献身ではありませぬ。何であらうとかならうとすべてを主に献げ、私はあなたのものですと申し上げようではありませんか。

(文責 林 正弘)

★第11回聖化大会の主講師紹介★

(於日本教育会館 一ツ橋ホール)



■主講師プロフィール

ケネス・C・キングホーン博士

アズベリー神学大学院教授

第11回聖化大会の主講師として来日されるキングホーン博士は、現在アズベリー神学大学院の神学部長の要職にあられます。ご専門は教会史と歴史神学で、教授としての令名は、国の内外に知られているお方です。また、按手礼を受けた教職として、知的にも霊的にも学生たちに多大の感化を与えておいでです。ある牧師は、「留学生に対する先生の優しい心遣いを忘れることが出来ません。」と言ひ、またある牧師は、「先生の授業は、本当に良く準備されていて、わかりやすく、将来への方向づけを与えてくれるので、毎日が楽しみだった。」と申します。

先生は、柔和で謙遜、文字通り「聖化」の立証者です。既に数十万部が売れ、今も注文が絶えないという『御霊の賜物』(今大会で邦訳出版)を初めとして、九冊の著書があり、目下、イラスト入りのウエスレアン事典と、アメリカにおけるメソジズムの歴史を、それぞれ執筆中です。

アズベリー大学で神学修士号を、エモリー大学で哲学博士号を取得しておられます。

ヒルダ夫人も教会教育の専門家で、エストニアのウエスレアン神学校へ出向かれる程です。二男一女の良き家庭の人でもあれば、いずれも現在神学校で学んで居られます。

ご多忙の中を、わざわざ時間を割いて快くおいて下さいます。大いなる期待を以て主のみわざを待ち望みたいと思ひます。

地域だより

「山形聖化交友会」の発足!

全国レベルで始まった「聖化交友会」は、年を重ねるごとに各地方に拡大し、よき働きが展開されるようになりましたが、この働きを「山形」にも、という気運が生じてきました。

お祈りと検討が加えられて、昨年十一月に本間義信先生をお迎えして山形県下の五教団から代表者が出席して説明会が行われました。その結果、今年一月に「山形聖化交友会準備会」を開催し、「山形聖化交友会」の発足を目ざしていくことを決定いたしました。

この決定をもって、さる三月に開催された日本聖化交友会評議員会に代表として岡拱也先生(ウエスレアン・ホーリネス教会連合、山形南部教会)が出席され、その経緯が述べられました。評議員会に集われた全

員の賛同を得て、正式に「山形聖化交友会」が発足いたしました。

詳細は省きますが、次のような組織をもってスタートし、第一回目の聖会の備えに入っています。

「山形聖化交友会」委員会

▼委員長 加藤昇先生(基督兄弟団米沢教会)

▼書記 釣稔先生(イムマヌエル綜合伝道団・山形教会)

▼会計 橋本幸夫先生(チャーチ・オブ・ゴッド河北町キリスト教会)

▼広報・事務局 岡拱也先生(ウエスレアン・ホーリネス教会連合 山形南部教会)

★第一回「山形聖化交友会」

★日程 '96年九月二三日(月)

★講師 松本祐三先生

★会場 基督兄弟団・米沢教会

葛田眞實前会長召天

関東聖化交友会の初代会長として、陣頭指揮をされた葛田眞實前会長(イムマヌエル綜合伝道団副総理、主都中央教会主任牧師)は、本年六月二日午後六時十分、召天されました。

初代会長として聖化の実践的宣証のために強力なリーダーシップを発揮された器でした。御遺族また御教会に福音のお慰めをお祈りいたします。

総務レポート

▼「聖化」第21号をお届けします。前号から本号発行の間に葛田JHA 関東前会長の召天という大きな出来事がありました。二代目の村上宣道会長の下、更なる拡大を見たく願っています。(編)